

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月30日

団体名 岡崎空襲を記録する会

代表者 杉田 隆志

構成員 52人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

この団体は1945年7月20日の岡崎下空襲を中心とした空襲・戦災や、戦争についての体験や事実を記録し、伝えることにより平和を守ることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
2024年 7月19日(金)	シゼコ西 買物広場 北東	慰霊祭 来場者	20人	会結成以来続く「市民慰霊祭」で、空襲体験の語り、慰霊碑前で献花なども実施しました。
2024年 7月30日(火)～ 8月6日(火)	りぶら 2階ギャラリー	りぶら ギャラリー来場者	約1,000人	第16回目となる「岡崎空襲と戦争・りぶら展」で紙芝居や体験画、会の保有する実物資料などの展示をしました。
2024年 8月11日(日)	りぶら 201, 202	戦争体験を語る 会」来場者 (語り継ぐ)	80人	第35回目となる「戦争体験を語る・語り継ぐ会」で紙芝居、2名の体験者の語り(代読)インタビューでの話などがありました。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

2023年2月にホームページを立ち上げ、メールアドレスにもいろんな問い合わせが来ている。
新しい「入会パンフ」も作成して、1年間で9名の方が入会されました。
また、高校での修学旅行事前学習として「岡崎空襲」体験者の話(代読)をしました。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

2025年は結成して50年という記念すべき年です。また50年活動を経てきたことが評価されると思います。また「新しい戦前」と言われるように世界各地で起っている戦争の不安、それをどう打開していくのか多くの市民が「平和」に関心、いや、望みを託しています。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。